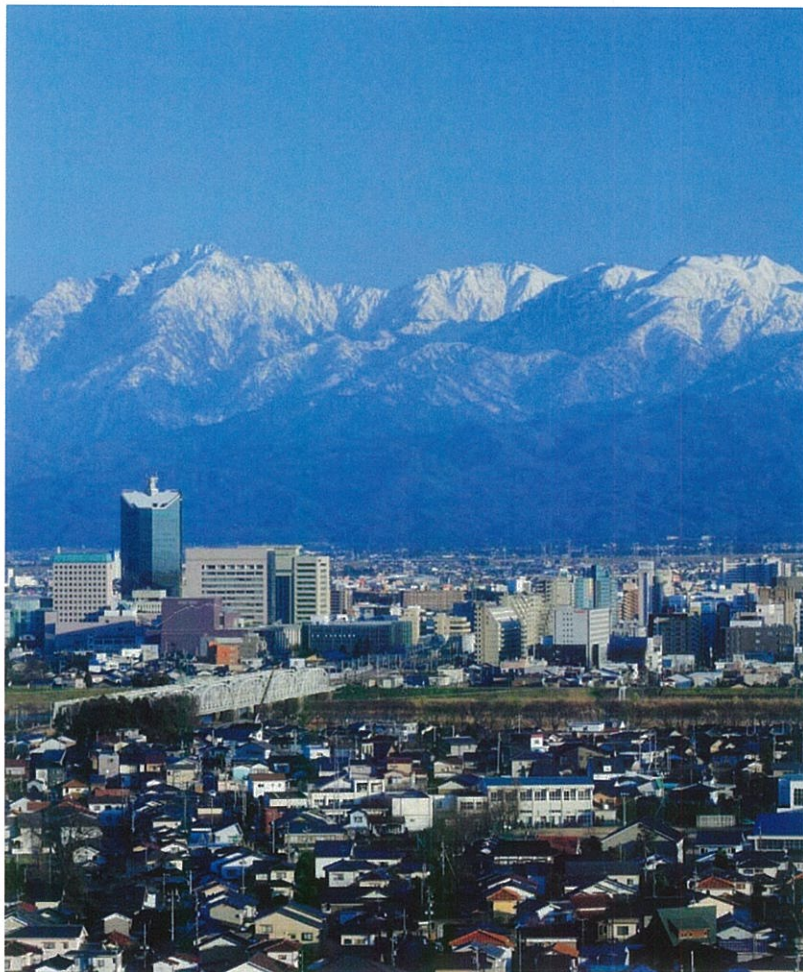


平成 30 年度 日測協ワークショップ



(参加者に付与する単位について)

- ①午後の部の「オキュペイショナルハイジニスト養成講座」を受講した方は、同養成講座のコース 4 の一部(項目番号 4-6)を修了したものとみなし、単位として 2 単位が付与され、ハイジニスト認定の条件となる 93 単位の一部として認めます。
- ②既に認定を受けたハイジニストが受講した場合、受講時間に応じ同資格更新に必要な単位として算定を認めます。
- ③作業環境測定インストラクターが受講した場合、受講時間に応じ同資格更新に必要な単位として算定を認めます。

詳細・お申し込みは

<http://www.jawe.or.jp/sokutei/kenkyu.htm>

日 時	平成 30 年 11 月 13 日(火) 10:00~16:45
会 場	富山国際会議場 3階メインホール 富山市大手町 1-2
参加資格	下記の方々を想定した内容の講演ですが、どなたでもご参加いただけます。 ①午前の部 富山市民の方々 ^{ほか} ②午後の部 作業環境測定士、企業の安全衛生関係者、労働衛生コンサルタント、大学関係者 ^{など}
参 加 費	無料

プログラム

午前の部(10:00~12:00)

一般講演

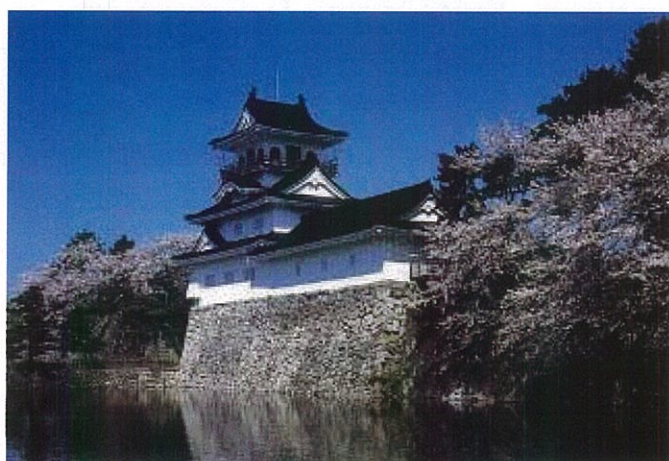
- 1 石綿とどう向き合うか—その性状、危険性、廃棄の問題等
山本貴士(国立環境研究所 主任研究員)
- 2 化学物質のリスク管理—生活の中のリスク管理
米澤宣行(東京農工大学教授)

午後の部(13:00~16:45)

オキュペイショナルハイジニストに関する講演

- 3 オキュペイショナルハイジニスト養成講座の概要と IOHA の認定について
飛鳥 滋((公社)日本作業環境測定協会 専務理事)
- 4 オキュペイショナルハイジニスト養成講座(コース 4-6)
城内 博(日本大学理工学部 特任教授)
- 5 オキュペイショナルハイジニストによる事例発表

第 39 回 作業環境測定研究発表会



主催：(公社)日本作業環境測定協会
日本労働衛生工学会

後援：厚生労働省

協賛：(公社)日本産業衛生学会
(公社)日本空気清浄協会

交流集会会場 富山第一ホテル
富山市桜木町 10-10

○参加者数：350 名超（平成 29 年度実績）

○一般発表演題数：63 題

○作業環境測定関連機器展示：22 社

詳細・事前お申し込みは

<http://www.jawe.or.jp/sokutei/kenkyu.htm>

期 日 平成 30 年 11 月 14 日(水)～16 日(金)
会 場 富山国際会議場
富山市大手町 1-2
参 加 費 会員 5,000 円
一般 12,000 円
実行委員長 永井信哉
(公社)日本作業環境測定協会
北信越支部長
(株)NSS 取締役

主な行事

11 月 14 日(水)

■技術講演 1

自社測定事業場から見た作業環境測定におけるサンプリングおよび分析の留意点

□現場報告*

SDS が作業環境管理に果たす役割

11 月 15 日(木)

◎共同シンポジウム

第 1 部 労働環境における工学的対策の変遷と今後の展望*

第 2 部 個人サンプラーを用いた作業環境測定をめぐって—今後の展開—

■技術講演 2

作業環境測定における分析の技術的課題

□基礎講座 1 *

結晶質シリカの生体影響について
—最近の知見—

◎交流集会

11 月 16 日(金)

■特別講演

化学物質管理、作業環境測定をめぐる労働衛生行政の動向

□基礎講座 2 *

作業環境測定マネジメント入門—マーケティングからコンサルティングまで—

* = 共催の日本労働衛生工学会による。